

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く(82)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(82)—

1. 始めに

前報(81)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。今回も Crystal E に 10000F の電解コンデンサーを連結しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も交響曲です。

TELEFUNKEN STG 1 (キングレコード)

モーツアルト レ・プティ・リアン

レオポルド・モーツアルト おもちゃの交響曲

ハンス・フォン・ベンダ指揮ベルリン室内管弦

3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

TELEFUNKEN の小品 2 曲の 25cm 盤ということで、TELDEC、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。

レ・プティ・リアンは、いかにもモーツアルトの小品らしく、愛らしく小粋で爽やかな演奏です。

レオポルド・モーツアルトのおもちゃの交響曲は、お馴染みの曲ですが、これも愛らしくおもちゃの笛の音が効果的に使われたりして、ウイットに富んだ曲です。

4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E などの総合的な効果

として、モーツァルトの小品の愛らしく、小粋な演奏が味わえました。

以上